

10月号の記事で、特に良かった記事・分かりにくかった記事があれば教えてください。

良かった：

分かりにくかった：

ご協力ありがとうございました。

市民のこえ



● 熊本地震による被災地へのトイレカー派遣、感動しました。トイレを我慢する為、水分を控え体調を崩される方がいると聞いていたので素晴らしい支援だと思っています。職員の皆様も体調には気をつけて頑張ってくださいね。
(PN 匿名希望 60代)

● 熊本地震からの一日も早い復興を願い、自分なりに復興支援への思いを込めて祈願しました。被災された皆さんが安心して暮らせる日常を取り戻し、平穏な生活を送れるよう願っています。
(PN 匿名希望 70代)

▼ 投稿ありがとうございます。被災された皆さまが一日でも早くもとの生活に戻れることを願っています。またお気遣いのお言葉もありがとうございます。現地で活動する職員にとっても大きな励みになります。

● 編集者のあとがきみたいなコーナーが私は好きです。

(PN 匿名希望 40代)

▼ ありがとうございます。毎月、どのような内容をお届けしようか悩みながら原稿を書いています。担当してまだ1年目ということもあり、今は取材を通して感じたことを中心にお伝えしています。が、これからは新しい話題や視点も取り入れながら、皆さんに楽しんでいただける編集後記をお届けできればと思っています。これからも市報しぶしを楽しみにしています。ただけると嬉しいです。

実りの秋、志布志の未来を育てる

市長コラム 下平 晴行

朝夕の涼しさに、秋の深まりを感じる季節になりました。10月は、農作物をはじめ、地域のさまざまな、「実り」を感じる季節でもあります。本市は、豊かな自然と、それを生かして農業・林業・水産業に取り組む皆さん、そして地域を支える商業や観光、物流・港湾関係の皆さんの力によって発展してきました。

流・貿易の拠点づくりや、農林水産物の高付加価値化など、地域の産業が元気になる取り組みも着実に進めています。

こうした地域の力を次の世代へつないでいくことが、これからの市政にとって大切です。特に、若い世代が「志布志で暮らしたい」「志布志で子どもを育てたい」と思えるまちをつくるため、子育て支援や教育、若者の定着、働く場の確保など、「人への投資」をさらに進めてまいります。

また、志布志港を核とした物流・貿易の拠点づくりや、農林水産物の高付加価値化など、地域の産業が元気になる取り組みも着実に進めています。



キラリ青春



陸 さん (24歳)
鹿屋市

Q. 現在のお仕事について教えてください。

A. 鹿児島県大隅地域振興局志布志市駐在機関にて、志布志港の港湾施設の整備・維持管理を行い、志布志港をより安全・快適に利用できるように、業務をしております。

Q. 趣味や好きなことは？

A. 趣味は車でドライブに行くことです。休日は家で過ごすよりも出かけることが多く、温泉巡りやおいしい飲食店を探して楽しんでいます。

Q. これからの目標・夢は？

A. 志布志市駐在に赴任して3年目になりました。まだまだ学ぶことばかりですが、土木技師としての知識と経験を生かし、地域の暮らしと志布志港の発展に貢献できるよう日々努めています。

大きくなあれ



投稿は
こちらから



しすい
紫慧ちゃん(4歳)
志布志町安楽

ご家族からのメッセージ！

歌とダンスが大好きで思いやりのあるしすいくんがみんな大好きです。これからも、優しく元気でいてくれたらママとパパは幸せです。いつも幸せと笑顔をありがとう。大きくなってね。



まれちゃん(1歳)
有明町野井倉

ご家族からのメッセージ！

絵本を読んでもらうのが大好きなまれちゃん。いつも元気いっぱい、パパとママにたくさんの笑顔と幸せを届けてくれてありがとう。これからも毎日楽しく、元気にすくすく育ってね。



ゆいな
結菜ちゃん(2歳)
有明町野井倉

ご家族からのメッセージ！

周りのみんなを笑顔にしてくれるゆいながママもパパも大好きです。お医者さんになりたいという夢、とても素敵だね♡人を助けてあげられる優しい女の子でいてください。ずっと応援しているよ！